

令和5年度梨花の里ホームヘルパーステーション事業報告書

1 事業活動について

ホームヘルパーが利用者の居宅において、その利用者の有する能力に応じ、可能な限り自立した生活を営む事が出来るように支援することを目的に、次のサービスを重点に行った。

- (1) 利用者の人格を尊重し、常に利用者の立場に立ったサービスの提供を行った。
- (2) 具体的なサービスの内容を記載した、訪問介護・予防給付型の計画を作成し、日常生活を営むに必要な援助を行った。
- (3) 利用者又はその家族に、訪問介護・予防給付型サービスの提供方法について理解出来るように説明した。

2 職員の状況

訪問介護職員数（令和5年3月31日現在）

管 理 者	(1人)
サービス提供責任者	1人
訪 問 介 護 員	1人
登録訪問介護員	4人
事 務 職 員	(1人)

() の数字は兼務を示す

3 実績

(1) 月別利用者数および介護度別利用者数（令和5年3月31日現在）（単位：人）

		複合型 (身体・生活)	生活援助	身体介護	合計
要介護者	4年度	38	89	167	294
	3年度	38	81	159	278
要支援者 総合事業対象者	4年度	0	135	18	153
	3年度	2	181	38	221
合 計	4年度	38	224	185	447
	3年度	40	262	197	499

利用者数については、新規の依頼は少ない状況でしたがプラン変更により、一人の方が重複して利用されることが多くありました。

(2) 利用者数及び時間

介護形態		利用者数 (延人数)	利用回数 (延回数)	派遣時間 (延時間)
複合型※	50分未満	20	511	425.8
	60分未満	1	1	1.0
	75分未満	3	55	68.8
	90分未満	14	80	120.0
	120分未満	0	0	0.0
	合計	38	647	615.6

※ 身体・生活を同時に行う支援

介護形態		利用者数 (延人数)	利用回数 (延回数)	派遣時間 (延時間)
生活援助	45分未満	30	293	219.8
	60分未満	59	400	400.0
	合計	89	693	619.8

介護形態		利用者数 (延人数)	利用回数 (延回数)	派遣時間 (延時間)
身体介護	20分未満	18	488	162.7
	30分未満	44	621	310.5
	60分未満	105	964	964.0
	合計	167	2,073	1,437.2

介護形態		利用者数 (延人数)	利用回数 (延回数)	派遣時間 (延時間)
予防給付※	生活支援	135	622	478.0
	身体介護	18	122	83.20
	複合型	0	0	0.00
	合計	153	744	561.2

※ 要支援者・総合事業対象者

4 研修の状況

日 時	研 修 名
R 4 . 4 . 18	事業計画、訪問介護におけるルールや制度
R 4 . 5 . 25	プライバシー保護の大切さ
R 4 . 6 . 29	他人事ではない「高齢者虐待」を未然に防ぐためにできる事
R 4 . 7 . 20	訪問介護の接遇マナーは大切。言葉使いと服装だけじゃない。
R 4 . 8 . 18	プライバシー保護はなぜ大切なのか
R 4 . 9 . 14	訪問介護における自立支援
R 4 . 10 . 27	言葉の掛け方、話の聞き方から接遇を見直そう
R 4 . 11 . 29	加算について
R 4 . 12 . 13	高齢者の冬の健康管理について
R 5 . 1 . 18	読み手に伝わる、ケアに生かせる書類の書き方
R 5 . 2 . 15	チームケアで介護力を高める
R 5 . 3 . 22	令和4年度の反省

※ 新型コロナウイルス感染症の為、状況を把握しながら会議の開催を行った。

5 その他

訪問介護員の会議、研修会開催状況

会 議 名	回数	会 議 内 容
ヘルパー会議	12	ケース検討・サービスの調整・勤務体制の確認 チームケア・連携・連絡方法について
施設内研修	6	食中毒・蔓延防止、感染症対策・痰吸引、緊急時の対応、高齢者虐待防止・身体拘束防止、ターミナルケア、身体拘束防止②

※ 新型コロナウイルス感染症の為、状況を把握しながら会議の開催を行った。